

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 西濃高等特別支援学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和8年5月12日(火) 10:00~12:00
- 3 開催場所 西濃高等特別支援学校 実習棟3 会議室 (参集による開催)
開催にあたり、委員による授業参観を実施した。
- 4 参加者

| | | | |
|-------|--------|------------|------|
| 会 長 | 大橋 奈麻輝 | 大垣市社会福祉協議会 | 事務局長 |
| 副 会 長 | 粥川 加奈子 | 大垣市議会議員 | |
| 委 員 | 上田 哲弘 | 日新地区自治会連合会 | 会長 |
| | 野田 正興 | 大垣青年会議所 | 理事長 |
| | 田中 智子 | 大垣商工会議所女性会 | 会長 |
| | 石丸 明美 | 大垣市くすのき苑 | 所長 |
| | 片山 泉 | PTA会長 | |
| 学 校 側 | 高木 靖 | 校長 | |
| | 川村 敏之 | 教頭 | |
| | 北村 直也 | 事務長 | |
| | 井藤 恵理子 | 部主事 | |
| | 宮脇 智之 | 教務主任 | |

5 会議の概要(協議事項)

(1) 教育目標・学校経営の目標と重点について

(2) 学校の概要について

意見1: 現場実習を通して、卒業後に即戦力として活躍できる力を身に付けていることを受入側としてもよく理解できた。

意見2: 当校の入試の状況や高等学校との選択について、どのようになっているか。
⇒高等学校の入学志願者の定員は減少しているが、本校は24名の定員で増減がなく、ここ数年は定員を超える志願者が集まっている。より多くの方に知ってもらえるよう今後もPRを積極的に行って行きたい。

意見3: ヒヤリハットの事例はあるか。

⇒今のところない。

意見4: 校名に「特別支援」と入ることで地域から偏見が生じないか。

⇒あまり感じない。障がい者枠で働きたい生徒が本校を志望し、企業も本校生徒の採用に積極的になっている。

(3) 学校評価アンケート(生徒用・保護者用)について

意見1: 質問項目の中に、生徒や保護者には回答が難しい内容(学校内部の人でしか分からない質問など)がある。また、全体的に答えやすくするために、学校の取組みをも

っとPRしてほしい。

(4) 専門コース生産品価格について（新規提案分）

・いずれも適正な価格であると承認が得られた。

意見1：一部、原価割れやそれに近い物品がないか。

⇒若干あるが、利益よりも教育の一環であることを優先し、一律の売価に設定したい。

(5) その他

・校内組織（校務分掌）について

・教育指導の重点、教育課程及び日課について

・令和8年度年間行事計画について

(6) 学校参観と意見交流

意見1：数学「台形の面積」の単元を見て、難しい内容に挑戦していると感じた。

意見2：施設・設備が充実している。生徒が即戦力として活躍できる教育の内容がよく伝わった。

意見3：ただ作業させるだけでなく、雑務の重要さや「気づかせる」ことを行なっている所がよい。

意見4：外部講師が多く、教育内容が非常に充実している。

意見5：教育内容を通して、本校や地域の福祉・障がい者に対する取組み方がよく伝わってくる。

意見6：親としてとてもうれしく思う。もっとこの学校のよさを地域にPRしてほしい。

意見7：生徒が生き生きしている。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、会長及び副会長が選出され、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針、専門コースの生産物の価格について、承認が得られた。

様々な立場の有識者から貴重な意見交流を行うことができた。また、生徒の授業参観を通して、本校での取組みに対する具体的な評価も得られた。

委員の意見を踏まえ、生徒の特性を引き出しながら、自立と社会参加に向けての基礎力を高めていくとともに、様々な学習活動を通して、危機管理や安全教育を行い、卒業後の就労に対する実践力の習得を図っていく。また、通学地域における各学校の学年の早い段階から、当校の特色や魅力についてPRしていくことの重要性も確認した。

今後も委員の方々と連携を図り、各関係機関等の協力も得て、地域への情報発信や学校運営を行っていくことを確認し散会した。